



しんらい、 信 頼

第8号
2010年
8月

平成22年8月20日 第1版 小樽市立 脳・循環器・こころの医療センター 広報委員会



看護部新人研修

新人看護師を対象に、看護技術の再確認と臨床実践能力向上のための研修を行います。

看護部の仕事場



看護部長

いたがき
板垣 ちえ子



4月に看護部長の辞令をもらい、はや4ヵ月がたちました。そして、4月から看護部長室は「看護部長の部屋」から「看護部の仕事場」に変わりました。今までは200人余りの看護職員の卒後教育を専門に担当する者がおりませんでした。今回、阿部副看護部長がその任となり、早速研修プログラムの作成や担当者の指導などに当たっています。「今が大変でも来年のたたき台になるから」と副看護部長を叱咤激励しつつ、私は看護部の組織・役割を見直し、再度明文化し、今後は教育・目標管理・医療安全対策、効率化を目指した業務改善について取り組んでいきたいと考えております。

歳は取っていますが未熟者です。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

小樽市立

脳・循環器・こころの医療センター

【基本理念】

『市民本意の医療を行い、地域に根ざした市民に信頼される病院を目指します』

— 基本方針 —

- 1) 24時間365日、救急医療を積極的に推進します。
- 2) 安全な医療を提供できるように、職員の安全教育を強力に推進します。
- 3) 患者さまの人格、信条を尊重し、患者さまに優しい医療を提供します。



新市立病院の統合新築に向けて

「新市立病院計画概要」をお知らせします。

市立病院が目指す、基本的な地域医療の方向性は、二次医療（診療所などでは対応できない病気や、入院・手術を要する患者さまの診療）と一部の三次医療（複数の診療科にわたる、より高度な診療）に対応できる医療体制を確立することです。

今回、病院局を中心に新市立病院基本構想の内容に最終的な検討を加え、新病院の規模・機能を決定し「計画概要」としてまとめました。



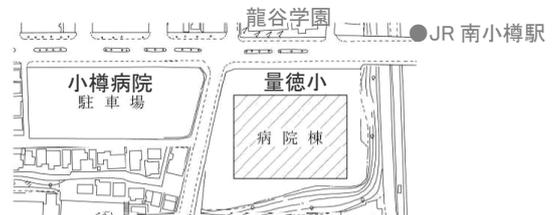
機能と役割

診療の三つの柱



建設地

量徳小学校および市立小樽病院の敷地
量徳小学校敷地に病院棟を建設し、市立小樽病院敷地は駐車場として使用する予定。



診療科目

- 内科
- 消化器内科
- 呼吸器内科
- ・循環器内科
- 神経内科
- ・外科
- ・整形外科
- ・心臓血管外科
- ・脳神経外科
- ・形成外科
- ・婦人科
- ・泌尿器科
- ・耳鼻咽喉科
- ・小児科
- ・皮膚科
- ・眼科
- ・放射線科
- ・麻酔科
- ・精神科
- リハビリテーション科
- 総合診療科



※太字が現在の医療センターでの診療科です

（○印の診療科は、常勤専門医が安定的に充足された場合に標榜します）

病床数

388床

- （病床数の内訳）
- 一般病床 302床
 - 結核病床 4床
 - 精神病床 80床
 - 感染症病床 2床



スケジュール

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
基本設計	実施設計	建設工事	建設工事	開院準備・開院

- ・基本設計＝建物の概要を使用目的や技術的、法規的に検討し、基本的な形にする作業
- ・実施設計＝基本設計を基に、工事に使用する詳細な設計図を作成する作業



（図面イメージ）

「優しさと思いやりのある」地域に開かれた基幹病院へ！

市立小樽病院と小樽市立医療センターの統合により、診療機能が大幅に向上し高度で幅広い急性期医療に対応します。

数字でみる「医療センター」 疾患別にみた退院患者さまの数

今回は、平成 21 年度の 1 年間に小樽市立医療センターを退院された患者さまについて、疾患別の件数、構成割合、そして平均年齢を調べました。

最も多い疾患は脳梗塞のうこうそくとなっており、次いで短期滞在手術も可能な下肢静脈瘤か し じょうみゃくりゅう、そしてカテーテルと呼ばれる細い管を心臓まで挿入し、冠動脈かんどうみゃくの撮影や血管内治療を行う狭心症きょうしんしやうと続いています。



順位	疾患名	人数	%	平均年齢
1	脳梗塞 <small>のうこうそく</small>	205	10.7	74.0
2	下肢静脈瘤 <small>か し じょうみゃくりゅう</small>	133	6.9	65.2
3	狭心症 <small>きょうしんしやう</small>	103	5.4	70.9
3	脳内出血	103	5.4	72.3
5	閉塞性動脈硬化症	73	3.8	75.1
6	慢性虚血性心疾患 <small>まんにゃくけつせいいんしんしやう</small>	63	3.3	70.8
7	心不全 <small>しんふぜん</small>	61	3.2	77.3
8	大動脈瘤及び解離 <small>りゅうかいり</small>	56	2.9	75.9
9	慢性硬膜下血腫 <small>まんにゃくかへつしゆ</small>	51	2.7	77.0
10	慢性腎不全 <small>まんにゃくじんぜん</small>	50	2.6	75.8

平成22年度 新入職員の紹介



今年度は医局、看護部、薬局、放射線科に 14 人の新採用または異動があり、新たに小樽市立医療センターの仲間となりました。

脳神経外科医師	太田 穰	看護部	柳田 真里	看護部	渡邊 千里
循環器内科医師	古堅 真	看護部	高橋 明日香	薬局	山形 昌弘
精神科医師	石井 純	看護部	守田 晃美	放射線科	佐藤 晋平
看護部	浅利 和生	看護部	佐々木 麻菜	放射線科	宮地 隆文
看護部	菊地 由恵	看護部	鈴木 利佐		

(平成 22 年 8 月現在)

●各部署を代表して自己紹介してもらいました

精神科医師 石井 純



4月より北海道大学病院から異動して参りました。まだまだ未熟で患者さま方から学ばせていただくことの多い毎日ですが、自分なりの精神科医療を見つけていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いしします。

循環器内科医師 古堅 真



糖尿病や高血圧などの生活習慣病を基礎とした動脈硬化疾患を中心に、不整脈などの心疾患を診療しております。患者さまの幅広いニーズにできるだけ応えられるように精進してまいりますので、よろしくお願いいたしします。

薬局 山形 昌弘



これからはチーム医療の時代です。早く他部門のスタッフにも慣れ、さらに質の高い医療を患者様に提供できるよう、また市民の皆さまから必要とされる病院・薬剤師を目指し、がんばりたいと思ひます。よろしくお願いいたしします。

放射線科 佐藤 晋平



新卒で臨床の現場でやっていけるのか不安でしたが、優しい先輩方ばかりで気軽に相談できますし、温かい指導をしてくれるので、とても心強いです。患者さまに安心して検査を受けられるように優しく接し、より質の高い画像を作成できるように日々努力し頑張りたいです。

2-2 病棟看護師 柳田 真里



4月からあつという間に4ヵ月がたち現場では時間内に仕事を終わらせる事で精一杯ですが、とても学びがいのある毎日です。「患者さまにとって何が大切か」ということを心掛けながら、一歩一歩進んでいきたいと思ひます。

4-2 病棟看護師 佐々木 麻菜



気がつけば入職してから5ヵ月がたちました。まだまだ未熟で自分の無力さを日々痛感しておりますが、患者さまの笑顔や熱心な先輩達、そして同期の仲間に支えられ、充実した毎日を送っています。これからも頑張りたいです。

MRI 装置を更新しました

当院では高度先端医療に対応するため、昨年12月に新型MRI装置（磁気の利用して臓器や血管を撮影する機械）を導入しました。

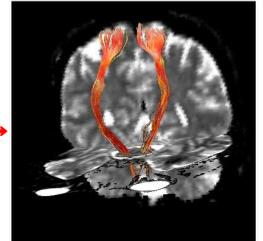
新しい装置は1.5テスラ超電導MRIとして最上位機種であり、造影剤を使わないで血管を撮影する能力の向上や、頸動脈プラーク検査、脳神経線維の描出、さらに心臓など動きのある臓器の検査までもがMRIで検査できるようになりました。また、従来の機械に比べ高速かつ高精細での撮影が可能となりますので、患者さまの負担軽減や、急性期医療で重要な「早期発見・早期診断・早期治療」に大きな威力を発揮しております。

こうした先端技術を積極的に導入、駆使して地域医療にさらに貢献できるよう努めてまいります。



←脳内血管を造影剤を使わない状態で撮影した写真

赤く見えるのは脳内→
神経線維の束



「おたる潮まつり」踊りました！

7月23日からおたる潮まつりが開催され、当院職員も「潮ねりこみ」に市立小樽病院・医療センター優恵連合として参加しました。



薬

くすいな話①



《血液サラサラの薬は納豆を食べちゃダメ？》

血液サラサラの薬を飲んでいると納豆を食べられないと思っている方はいませんか？ 納豆がダメなのはワーファリンだけ！血液サラサラの薬すべてが納豆を食べられないわけではありません。

血液が固まる過程にビタミンKがかかわっており、ワーファリンはビタミンKの働きを抑え血液が固まるのを防ぎます。このため、特にビタミンKの多い納豆や青汁、クロレラをとると薬の効果が弱くなってしまいます。この3つはワーファリン服用中は絶対にとらないでください。緑黄色野菜や海藻類にも入っていますが、適量なら問題ありません。

その他の血液サラサラ薬（プラビックス、プレタール、パナルジン、バイアスピリンなど）の作用にビタミンKはかかわっていないので心配ありません。

薬局 鶴谷勝実

小樽市立医療センター

ホームページのご案内



小樽医療センター

検索

◆受付時間 午前8時40分～/午後1時30分～

◆休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

発行者：小樽市立 脳・循環器・こころの医療センター
病院長 馬淵 正二

〒047-0036 小樽市長橋3丁目11番1号

電話(0134)33-4151・FAX(0134)32-6347